がん相談業務
（院内におけるピア・サポート）

相談記録シート集計報告

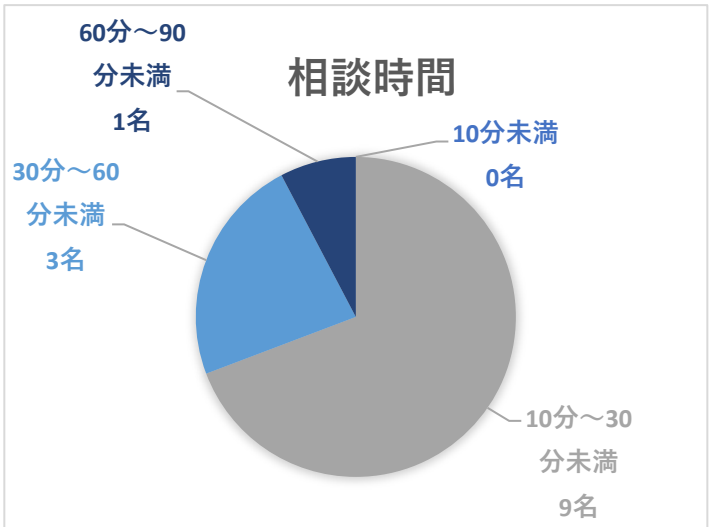
実施期間：令和7年1月6日～令和7年3月31日

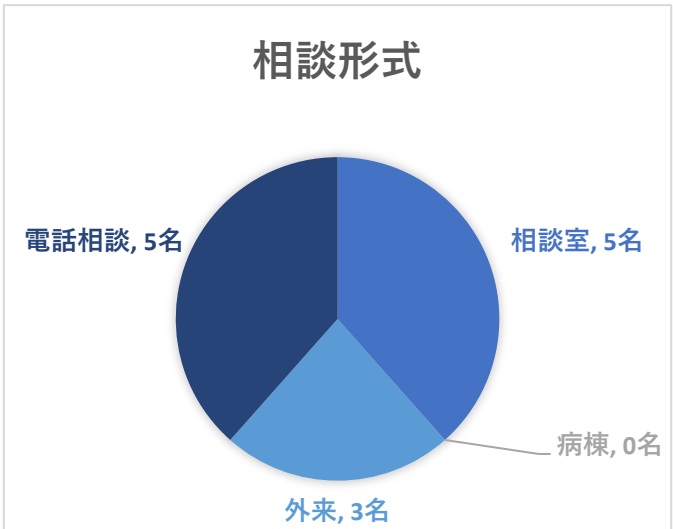
沖縄県地域統括相談支援センター

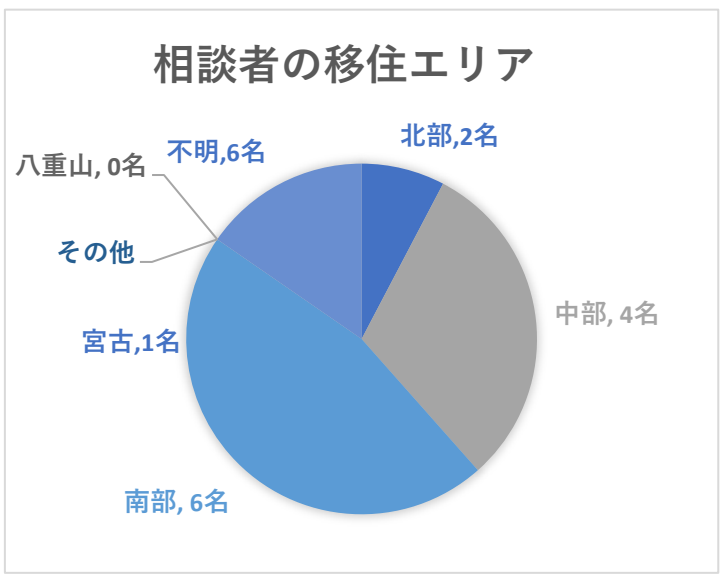
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

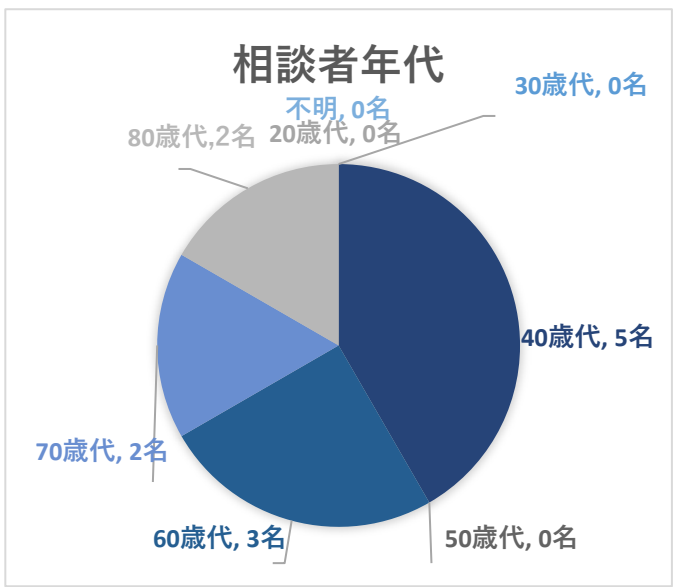
■ 調査対象期間　　令和7年1月6日～令和7年3月31日
■ 調査件数　　13件

相談月	件　数
1月	6
2月	3
3月	4
合　計	13

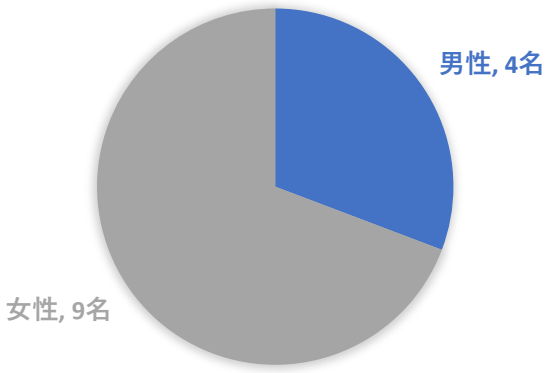




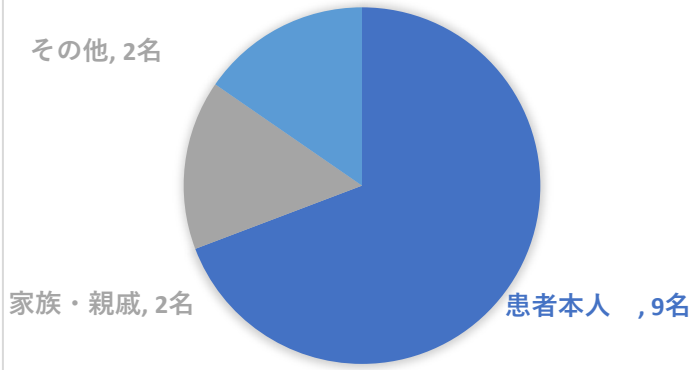




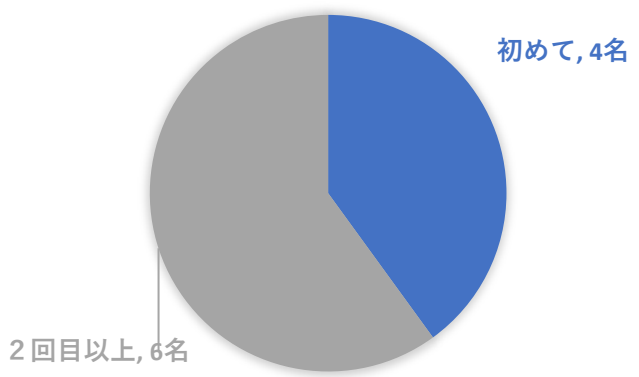
相談者の性別



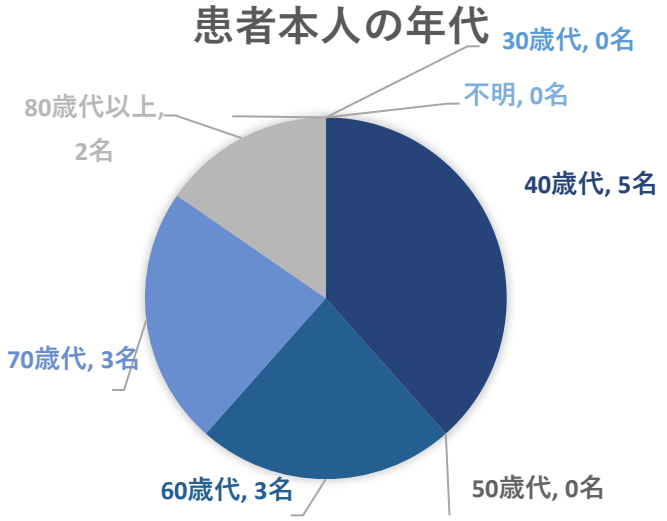
相談者のカテゴリー



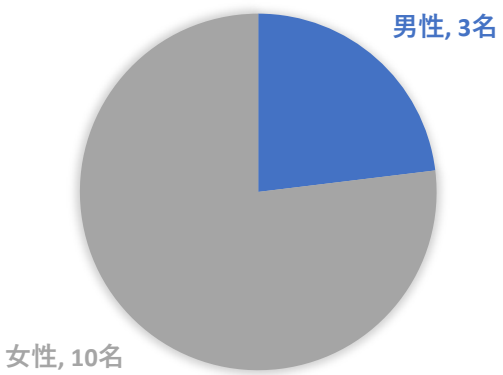
相談者の利用回数



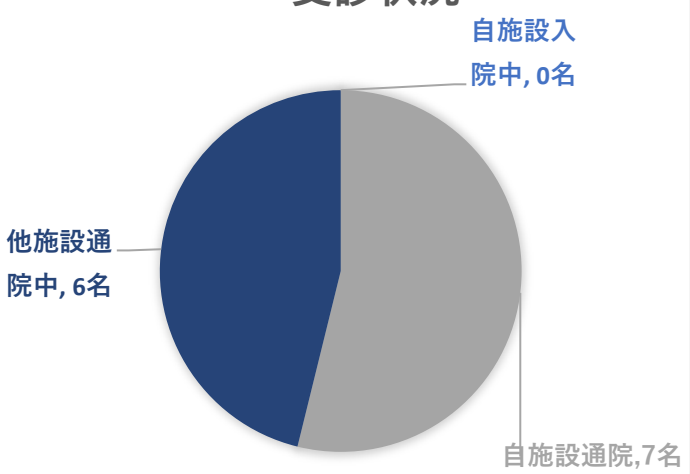
患者本人の年代

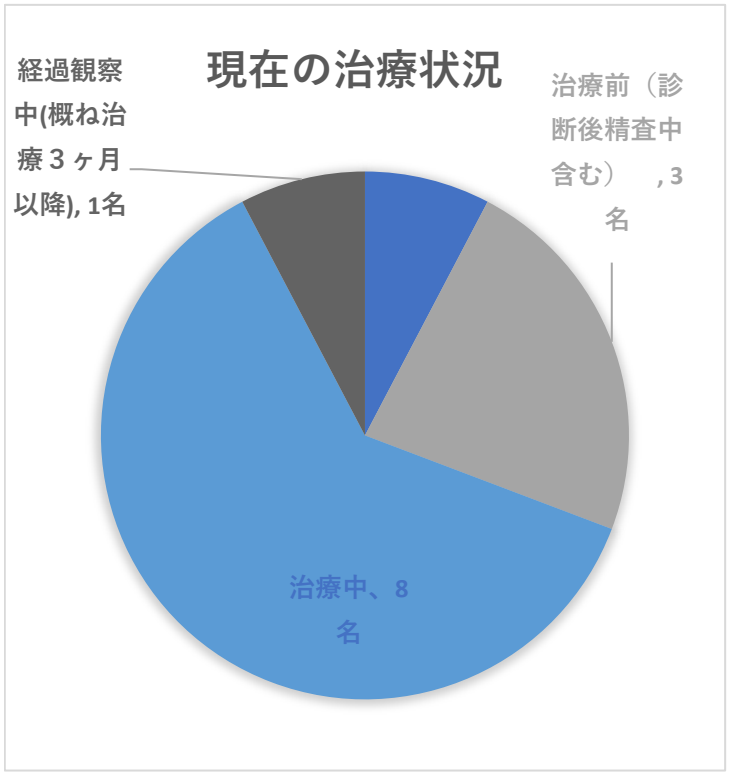


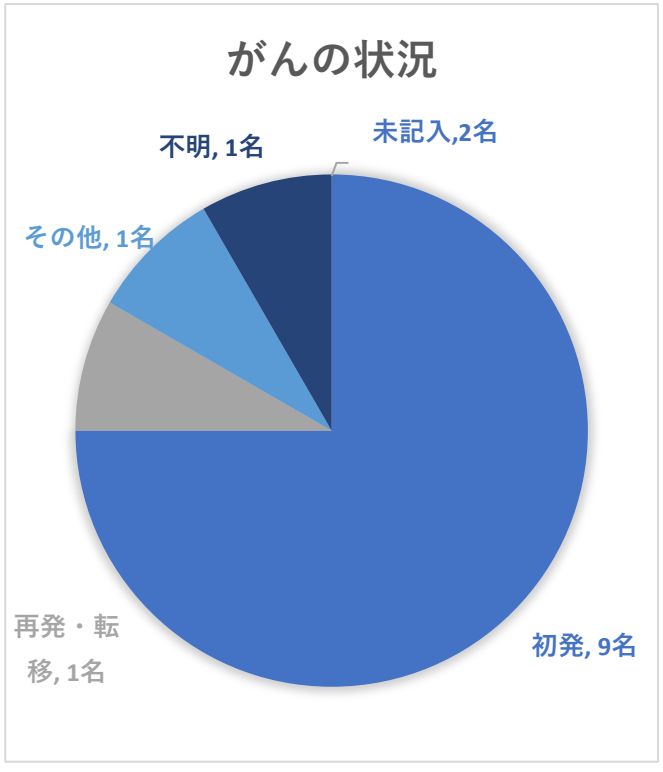
患者本人の性別

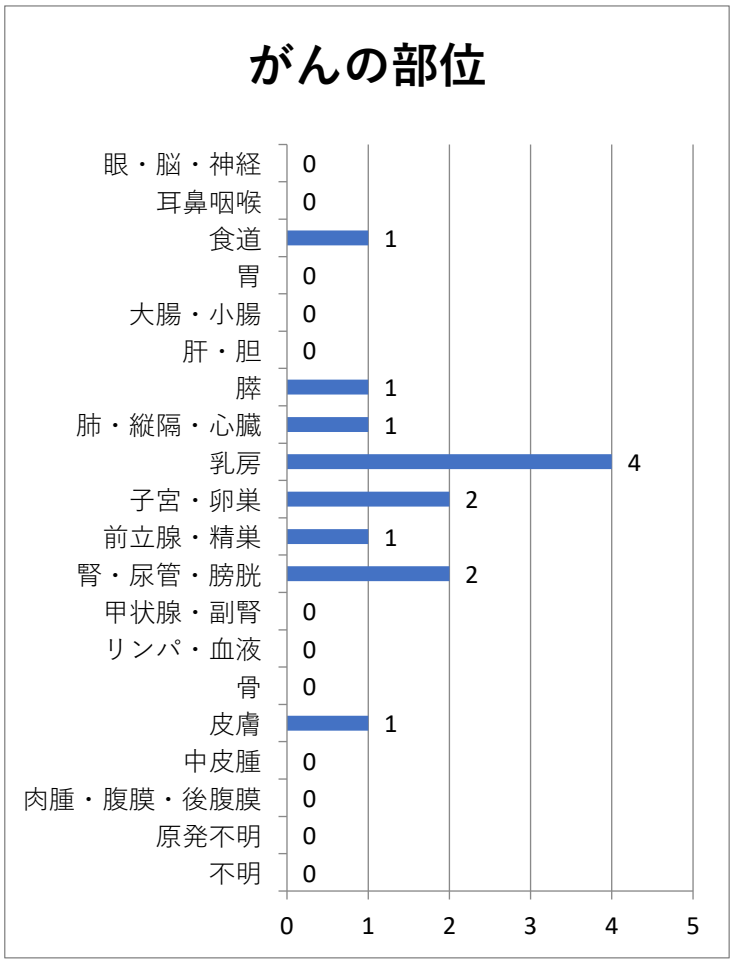


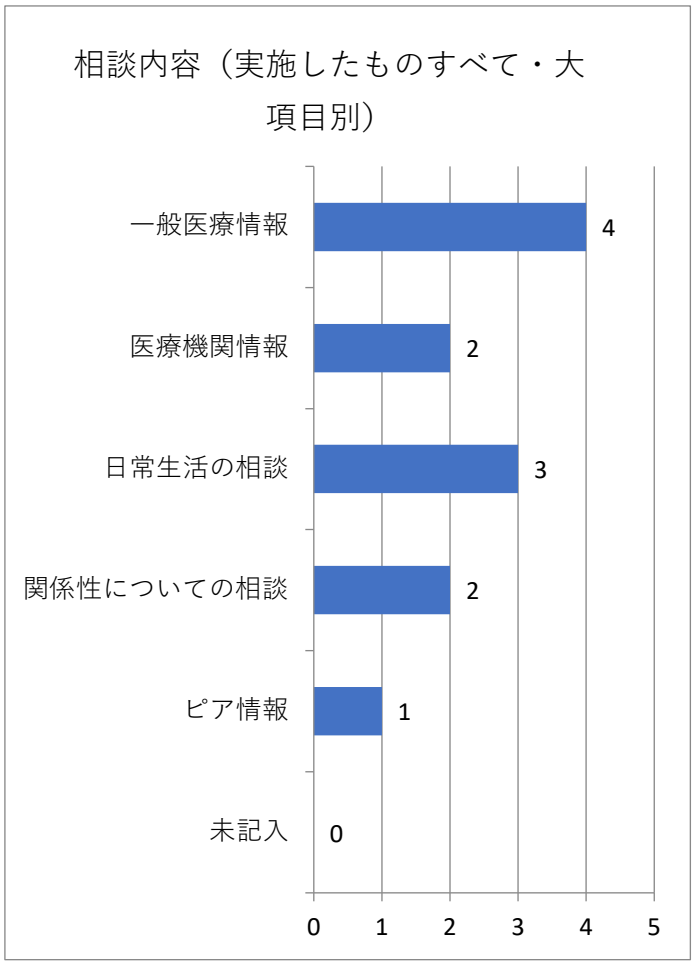
受診状況

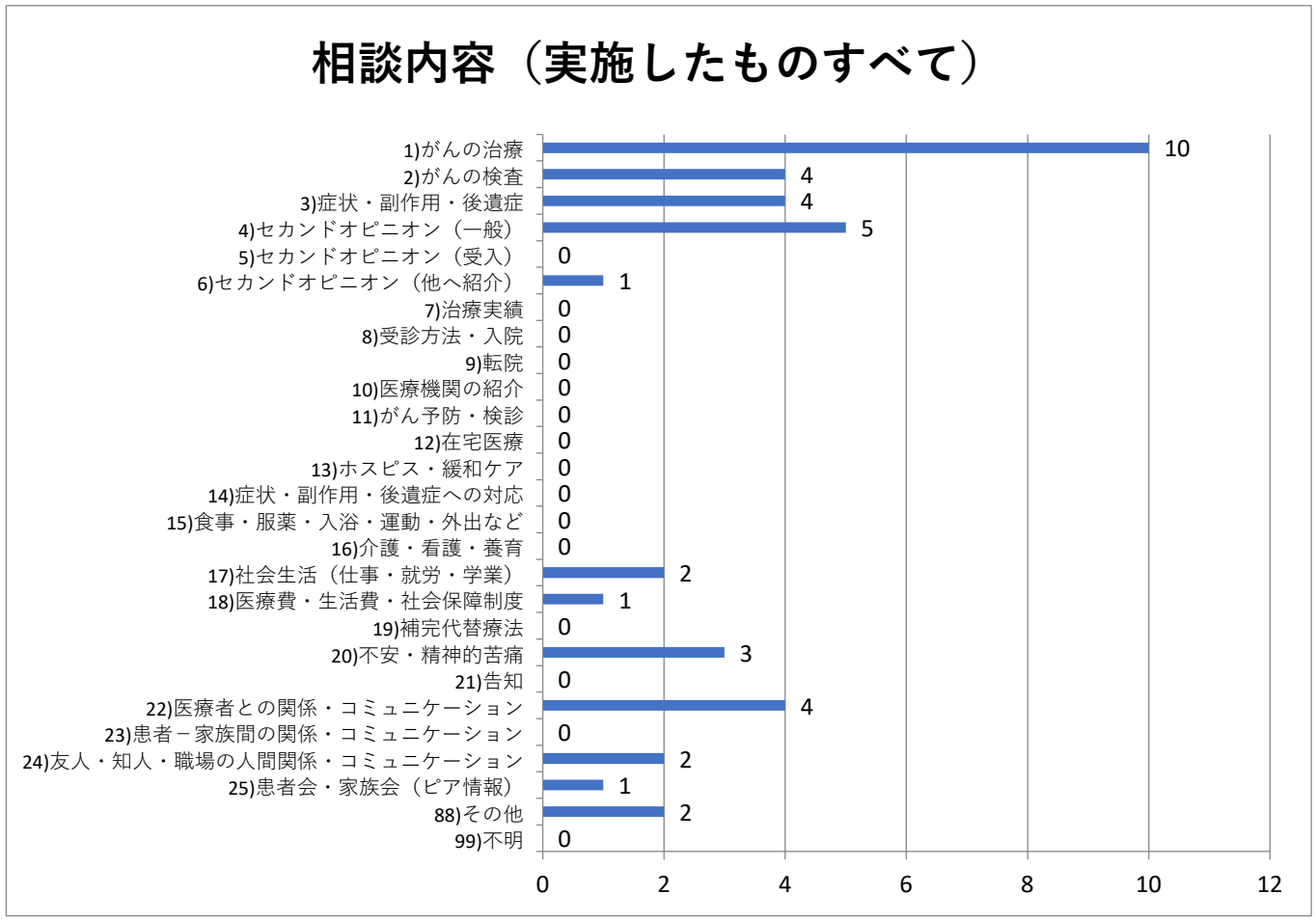


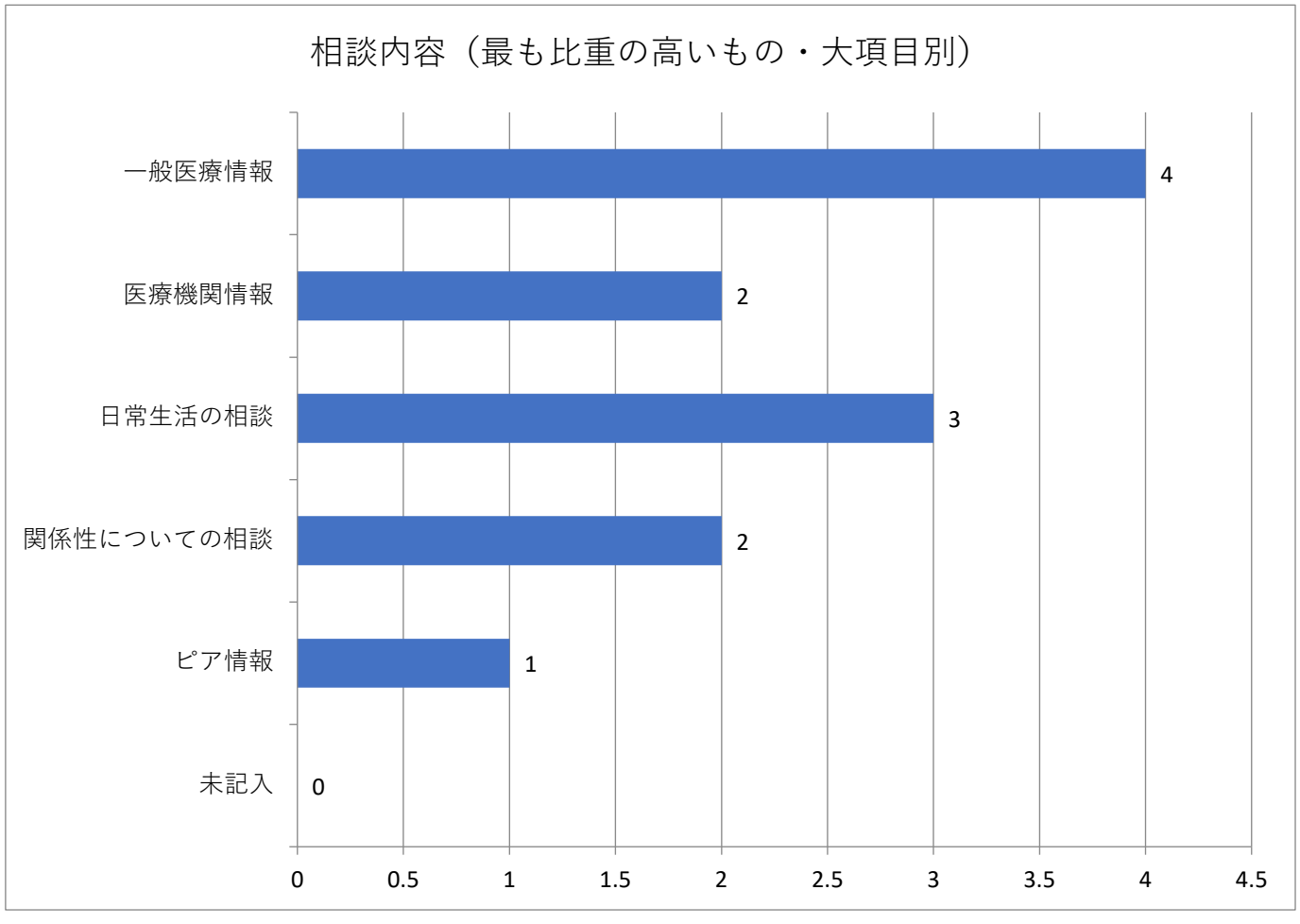

現在の治療状況
経過観察中(概ね治療３ヶ月以降), 1名
治療前（診断後精査中含む）, 3名
治療中、8名


がんの状況
不明, 1名
未記入,2名
その他, 1名
再発・転移, 1名
初発, 9名

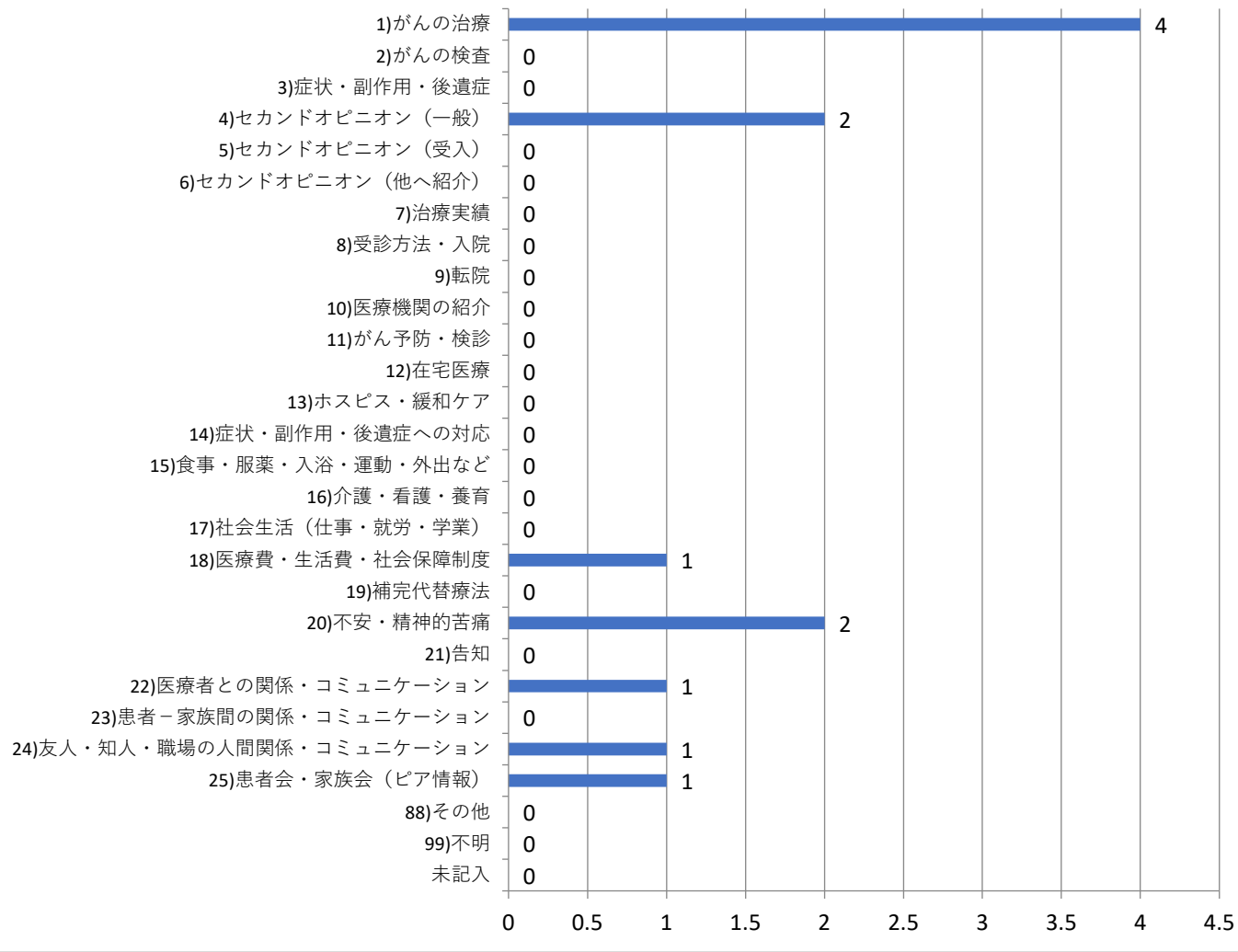

がんの部位
眼・脳・神経 0
耳鼻咽喉 0
食道 1
胃 0
大腸・小腸 0
肝・胆 0
膵 1
肺・縦隔・心臓 1
乳房 4
子宮・卵巣 2
前立腺・精巣 1
腎・尿管・膀胱 2
甲状腺・副腎 0
リンパ・血液 0
骨 0
皮膚 1
中皮腫 0
肉腫・腹膜・後腹膜 0
原発不明 0
不明 0
0 1 2 3 4 5


相談内容（実施したものすべて・大項目別）
一般医療情報 4
医療機関情報 2
日常生活の相談 3
関係性についての相談 2
ピア情報 1
未記入 0
0 1 2 3 4 5

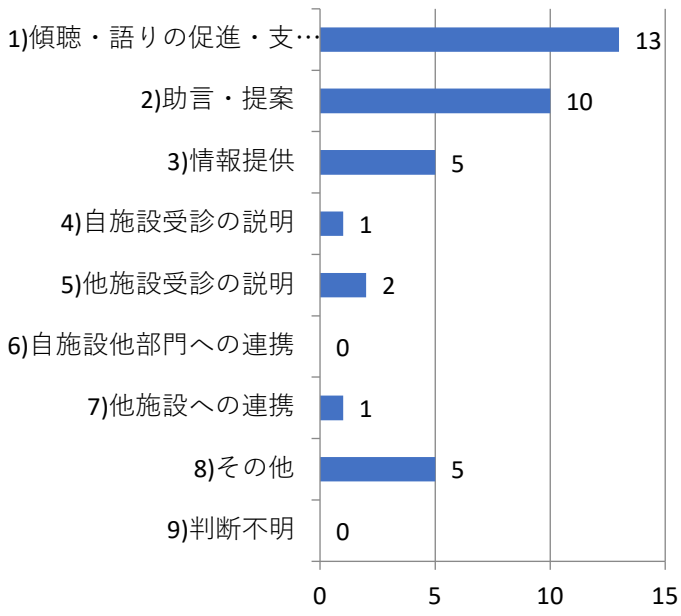

相談内容（実施したものすべて）
1)がんの治療 10
2)がんの検査 4
3)症状・副作用・後遺症 4
4)セカンドオピニオン（一般） 5
5)セカンドオピニオン（受入） 0
6)セカンドオピニオン（他へ紹介） 1
7)治療実績 0
8)受診方法・入院 0
9)転院 0
10)医療機関の紹介 0
11)がん予防・検診 0
12)在宅医療 0
13)ホスピス・緩和ケア 0
14)症状・副作用・後遺症への対応 0
15)食事・服薬・入浴・運動・外出など 0
16)介護・看護・養育 0
17)社会生活（仕事・就労・学業） 2
18)医療費・生活費・社会保障制度 1
19)補完代替療法 0
20)不安・精神的苦痛 3
21)告知 0
22)医療者との関係・コミュニケーション 4
23)患者－家族間の関係・コミュニケーション 0
24)友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション 2
25)患者会・家族会（ピア情報） 1
88)その他 2
99)不明 0
0 2 4 6 8 10 12


相談内容（最も比重の高いもの・大項目別）
一般医療情報 4
医療機関情報 2
日常生活の相談 3
関係性についての相談 2
ピア情報 1
未記入 0
0 0.5 1 1.5 2 2.5 3 3.5 4 4.5

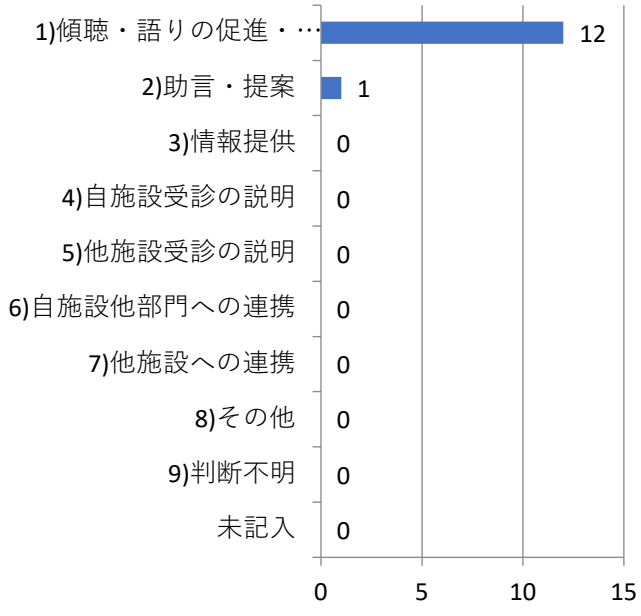
相談内容（最も比重の高いもの）

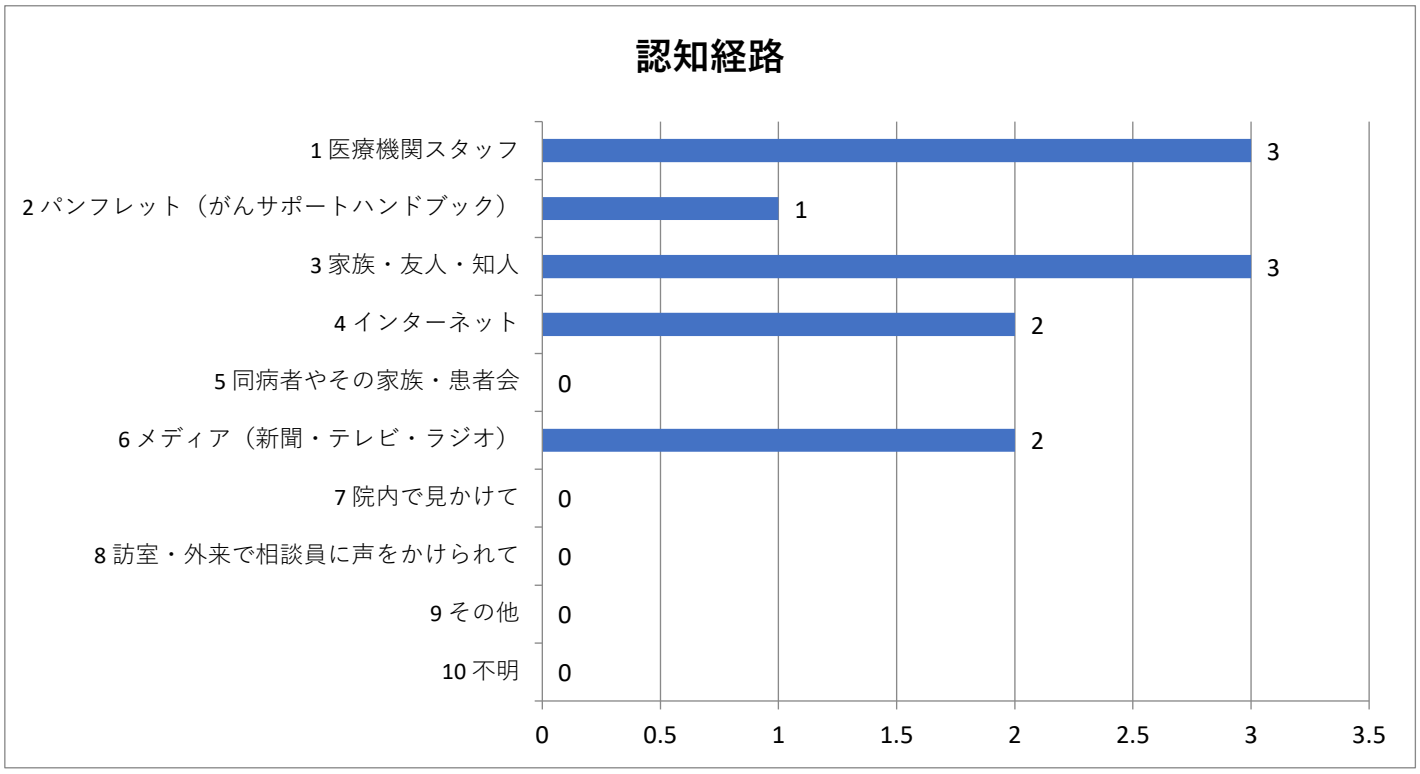


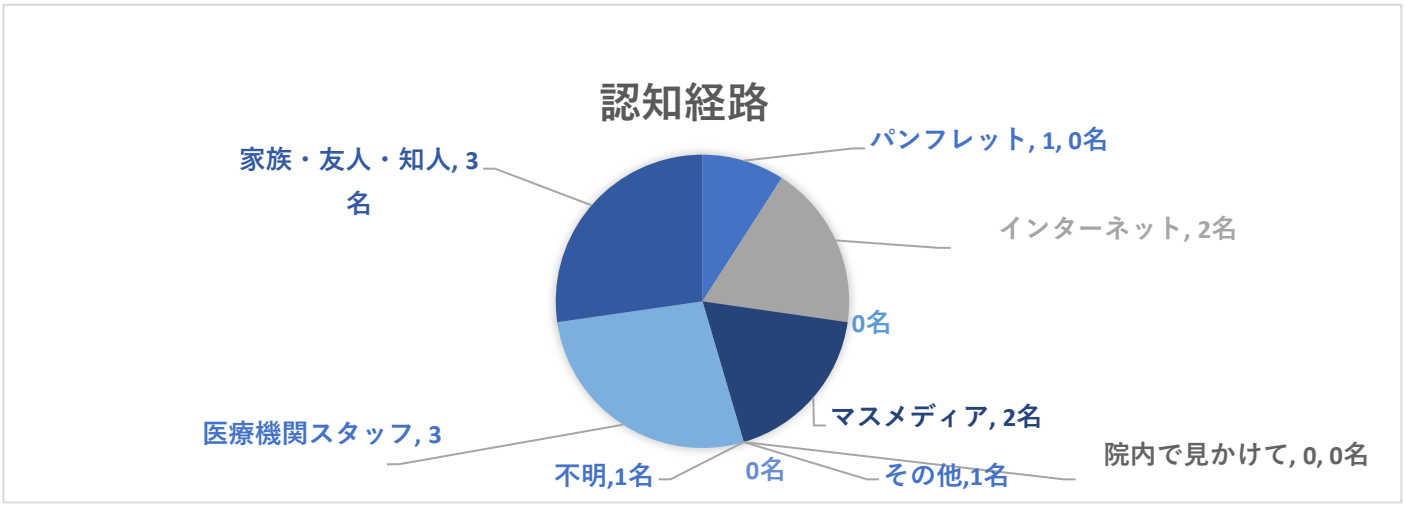
対応内容（実施したものすべて）



対応内容（最も比重の高いもの）




認知経路
1 医療機関スタッフ
2 パンフレット（がんサポートハンドブック）
3 家族・友人・知人
4 インターネット
5 同病者やその家族・患者会
6 メディア（新聞・テレビ・ラジオ）
7 院内で見かけて
8 訪室・外来で相談員に声をかけられて
9 その他
10 不明
3
1
3
2
0
2
0
0
0
0
0
0.5
1
1.5
2
2.5
3
3.5


認知経路
家族・友人・知人, 3名
パンフレット, 1, 0名
インターネット, 2名
0名
マスメディア, 2名
院内で見かけて, 0, 0名
医療機関スタッフ, 3
不明,1名
0名
その他,1名

令和６年度　沖縄県委託事業

がん ピア・サポーター養成講座

開催報告

実施日：令和７年２月 22 日（土）

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

【名称】

令和６年度　がん ピア・サポーター養成講座

【目 的】

①これから「ピアサポート」を始める方が、1 対 1 での対応に関する基本な事項を学ぶ。

②受講生同士に仲間意識を持ち、今後のセンター及び個々の活動が互いに連携できる環境をつくり、コミュニケーション技術向上を目的とする。

【概 要】

１.日　時　　令和 7 年 2 月 22 日（土）9：00～17：00

２.場　所　　おきなわクリニカルシミュレーションセンター
(琉球大学医学部キャンパス内)

３.対　象　　下記①～⑤すべてに該当する方
①がん患者およびがん患者のご家族、ご遺族
②現在病状の安定している方
③事前学習プログラム（講義動画）を視聴できる方
④講義ならびにロールプレイ（面接技法）参加出来る方
⑤受講後は治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターのがんピアサポーター（ボランティア）として登録し活動できる方

４.主　催　　沖縄県地域統括相談支援センター（令和６年度　沖縄県委託事業）

５.参加費　　無料

６.課　題

講義動画（受講前までに学習プログラムを視聴し、事前課題を提出）
厚生労働省委託事業　がん総合相談に携わる者に対する研修事業
「ピア・サポーター養成テキスト 2020 年度版」のテキスト等に準拠し、
サイコオンコロジー学会、ご提供頂いた動画を使用。

・ピアサポートとは
・ピアサポーターの役割と活動指針
・相手を大切にすること、自分を大切にすること
・よりよいコミュニ ケーションのために
・がん診断の基礎知識と情報提供の注意点
・行政や医療機関が支援できること

事前学習動画内において、学んだことや感想を原稿用紙に各テーマ 100 文字～200 文字にまとめ、事前学習に関する質疑についての課題提出あり。

令和6年度　がん　ピア・サポーター養成講座　プログラム

開始時間	終了時間	所要時間	項目	担当者	備考
9:00			開会		
9:00	9:05	5分	開会のあいさつ	がんセンター長　増田	
9:05	9:10	5分	講師およびスタッフ紹介	講師・相談員・スタッフ	各自自己紹介
9:10	9:20	10分	アイスブレイク	齋藤　円先生	受講生参加型
9:20	9:50	30分	ピアサポートについて	齋藤　円先生	
9:50	10:20	30分	事前学習の復習（ピアサポートとは・役割と活動指針・コミュニケーション）	野田　真由美さん	
10:20	10:30	10分	休憩		
10:30	11:00	30分	相手を大切にすること、 自分を大切にすること バウンダリーについて	齋藤　円先生	
11:00	11:10	10分	休憩		
11:10	12:10	60分	自分の体験を語る	野田　真由美さん 齋藤　円先生	受講生参加型 2グループ編成
12:10	13:00	50分	お昼休憩		
13:00	13:20	20分	オリエンテーション（ロールプレイ）	野田　真由美さん	
13:20	13:50	30分	ロールプレイ第1セッション		受講生参加型 3人1組 6グループ編成 （患者役・ピアサポーター役・観察者役）
13:50	14:00	10分	休憩		
14:00	14:30	30分	ロールプレイ第2セッション		
14:30	14:40	10分	休憩		
14:40	15:10	30分	ロールプレイ第3セッション		
15:10	15:20	10分	休憩		
15:20	15:30	10分	グループ振り返り	各グループ	
15:30	16:00	30分	全体振り返りロールプレイの講評	野田　真由美さん	各グループの振り返り発表 講師及びセンター長より全体の講評
16:00	16:05	5分	休憩		
16:05	16:15	10分	がん対策について	増田　昌人	
16:15	16:30	15分	沖縄県のピアサポート事業について	ピア・サポーター 中山　富美	
16:30	16:40	10分	質疑応答	講師・相談員	司会が指名
16:40	16:50	10分	アンケート記入	受講生各自	紙面記入
16:50	16:55	5分	受講修了書	がんセンター長　増田	
16:55	16:57	2分	記念撮影	全員	
16:57	17:00	3分	閉会のあいさつ	がんセンター長　増田	
17:00			閉会		

【講師・スタッフ紹介】　　R7.2.22

No	名前	所属先	役割
1	齋藤（さいとう）　円（まどか）先生	市立ひらかた病院　精神科　主任部長	講師・アドバイザー
2	野田（のだ）　真由美（まゆみ）さん	NPO法人　支えあう会「α」　副理事長	講師・アドバイザー
3	上原（うえはら）　弘美（ひろみ）さん	友愛医療センター　地域医療部 がん相談支援室専従看護師	ファシリテーター
4	与儀（よぎ）　淑恵（よしえ）さん	NPO乳がん患者の会　ぴんく・ぱんさぁ 代表	ファシリテーター
5	島袋（しまぶくろ）　百代（ももよ）さん	NPO法人パンキャンジャパン沖縄支部 代表（支部長）	ファシリテーター
6	中山（なかやま）　富美（ふみ）	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	講師・ファシリテーター
7	西村（にしむら）　克敏（かつとし）	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	ファシリテーター
8	上地（うえち）　久美子（くみこ）	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	ファシリテーター
9	玉寄（たまよせ）　育子（いくこ）	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	オブザーバー
10	増田（ますだ）　昌人（まさと）	琉球大学病院　がんセンター長 沖縄県地域統括相談支援センター兼任	責任者
11	友利（ともり）　晃子（あきこ）	琉球大学病院　がんセンター	スタッフ
12	城間（しろま）　久美子（くみこ）	琉球大学病院　がんセンター	スタッフ
13	喜瀬（きせ）　杏妃（あずひ）	琉球大学病院　がんセンター 沖縄県地域統括相談支援センター　担当	司会

【受講者】

No	性別	所属先	備考
1	女性	無	波照間島
2	男性	日本オストメイト協会 沖縄県支部	
3	女性	無	
4	女性	無	本島北部
5	女性	無	
6	男性	ぬちぐく～るやいま会	石垣市
7	女性	無	
8	男性	無	
9	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
10	女性	きゃんさーグリーフ おきな和	
11	女性	無	
12	女性	無	
13	女性	無	
14	女性	ぴんく・ぱんさぁ	

【オブザーバー参加】

No	性別	所属先	備考
1	女性	ぬちぐく～るやいま会	石垣市
2	女性	沖縄県地域統括 相談支援センター	

【参加者】
受講者 14 名
オブザーバー参加 2 名（医療者 1 名、当センターピア・サポーター1 名）

【振り返り】
・がん診療を行う県内医療施設、がん患者支援登録団体、がん患者会登録団体、希望者含め合計 84 ヵ所へ案内送付、院内ポスター掲示やホームページ等でも掲載し、21 名のお申し込みがあった。（家庭の事情や自身の体調不良等でキャンセルが 7 名）
・前回同様に対象者を「現在、病状の安定している方」へと広げること、今年度は地元新聞広告掲載も取り入れたことで、前年度より多くの受講希望者がいた。
・案内も 2 ヶ月前から周知と申し込みを募ることができたので、次年度も引き続き早めのプログラム設定と内容を確認後広報したい。
・事前課題については、時間に余裕を持って提出いただけるよう締切を早め設定にした方が良い。開催日の 1 ヶ月半前には締め切りをし、受講生への事前課題提出までに時間を取ることを目指したい。
・離島の方にも助成を利用して受講いただけるよう離島へき地の周知に力を入れたい。
・今年度は、各がん拠点病院での患者サロンで活動するピア・サポーターの養成を目的に、情報提供相談支援部会にて依頼文を提出した。実際に現場での声かけもあり、離島からの受講生も参加いただけた。今後の離島でのピア・サポート活動の場を提供するためにも、拠点病院での相談員との連携を密にしたい。
・前日に会場設営をすることで、当日はスムーズに受付まで行えた。次回からも前日会場設営の時間で調整する。
・今回はがん診療連携協議会に参加されていた患者会の代表にファシリテーターをお願いした。グループ編成にも余裕ができ、当日欠席者がいた場合でもファシリテーターが多くいることで、負担も減ると感じた。今後もファシリテーターは多めに確保した方が良い。
・プログラム構成は昨年同様大きく変更した所はなく丸 1 日の研修会無事終了となる。

【当日の様子】





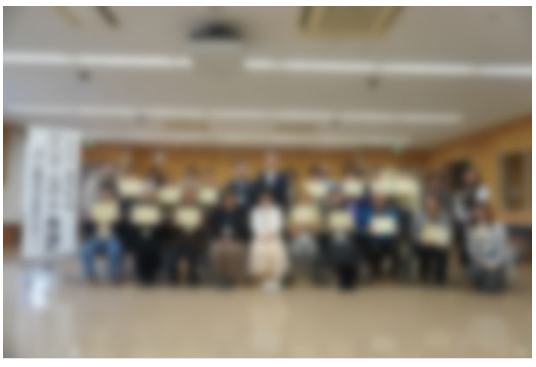












令和6年度　がん ピア・サポーター養成講座　アンケート集計（14名分）

Q1.養成講座に参加しようと思ったきっかけは何ですか？

1　サバイバーとして自分の体験を基本に、今悩んでいる方々の相談にのれることは、今後の私の人生のやりがいに繋がるのではないかと考えて参加しました。

2　遺族ケアの活動を行っているため

3　癌の告知を受けた時に、ピアサポーターに話を聴いてもらい気持のサポートをしてもらい安心しました。寄り添ってもらいました。私も誰かに寄り添い共に考えたいと思い参加しました。

4　知り合いの認定看護師さんから講座の情報をもらって参加しました。

5　①NHKラジオ深夜便、AYA世代、県立図書館での展示会に興味を覚えた。②32歳で末期がんを体験、人生の節目、古希、70歳の年に世の中に恩返ししたい。

6　知人に誘われたので

7　癌患者の会の方から養成講座の案内があり受講しました。

9　友愛医療センターの上原さんに情報をいただいて受講しようと思いました。

10　誰かのお手伝いになればと思い

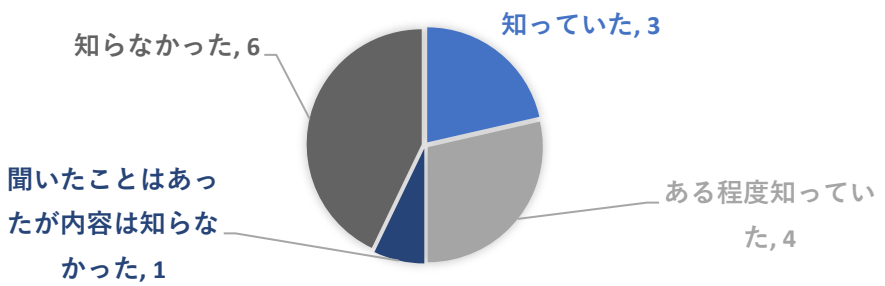
11　私が昨年脳腫瘍を経験した際に、たくさん心を救わたため、その経験を活かしたいと考えたから。

12　ピアサポーターという言葉を知り、やってみたいと思い参加してみました。

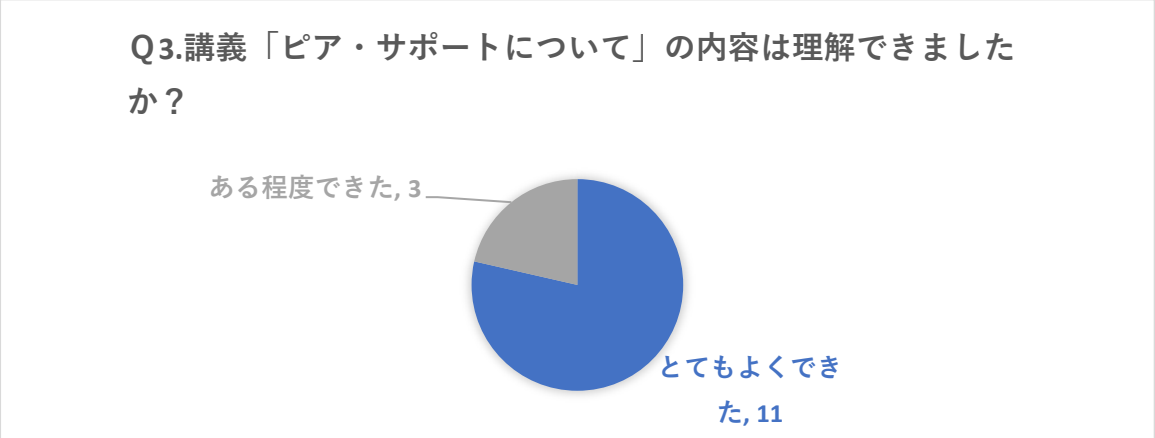
13　がんになってから10年過ぎ、心の余裕が出来て他の人の役に立てればと思った。

14　自らがんになったのをきっかけに同じがんの方に何か？お手伝い出来る事はないか？と思いました。患者会経由でピアサポーターの存在を知り参加を決めました。

Q2.ピア・サポート活動（またはピア・サポーター）を知っていましたか？

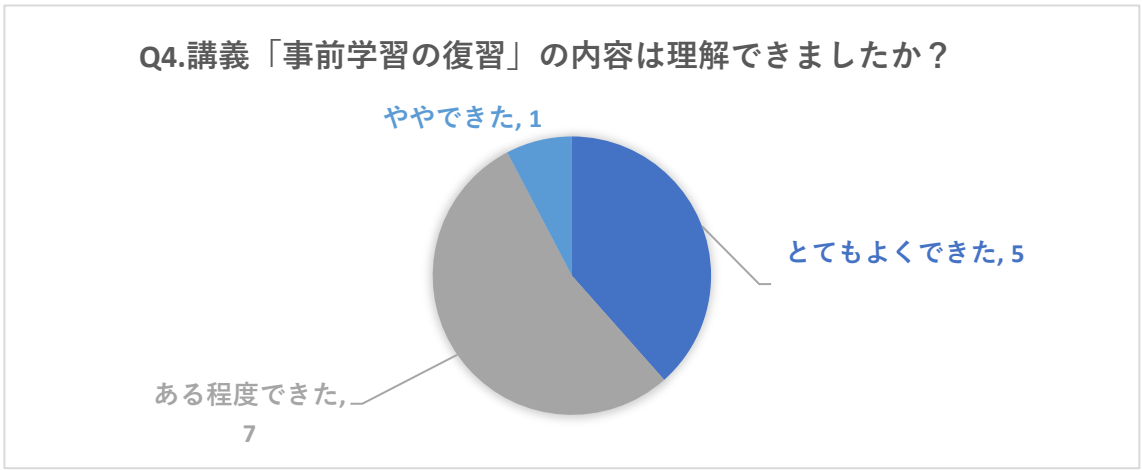


Q3.講義「ピア・サポートについて」の内容は理解できましたか？



理由

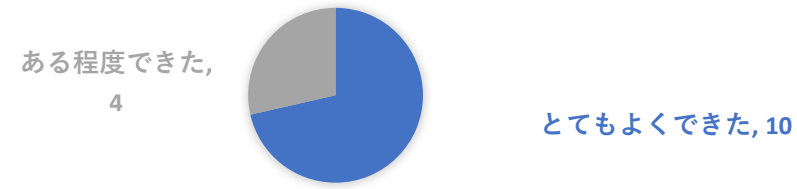
1 ピアについて定義か明確化され同じがん患者を共有する仲間、腑に落ちた。
2 気持ちに寄り添う、じっくり話を訊く
3 今日の講義を受けてとても勉強になりました。
4 講義の資料も読みやすく理解しやすかった。
5 自分に出来るのか不安だったが、寄り添い、話を聴く、共感することは出来ると思いました。
6 事前課題の復習のようなものだったから
7 最初ピアサポートとは･･･？という状態から始まりましたが、事前課題～今日の講座を通して勉強になりました。ピアサポート役が難しく言葉を詰まらせてしまいました。
8 事前学習、座学だけでなくワークショップ（ロールプレイ）も含め分かりやすい学習だった。
9 実際にピアサポーター役利用者役観察者役全てを練習することで良かったこと、改善すべき点、よく理解出来ました。



理由

1	事前学習の連絡があった時は負担感を感じましたが、しっかりと理解するためには必要だったのだと理解しました。
2	分かりやすい講義でした
3	最後の第6番目理解することが難しかったが、今日の講義で理解できた
4	事前学習では難しい所もありましたが、今日の対面の講義で理解が深まりました。
5	自身のレポートに不安があるのでややできたという評価です。
6	話の内容がどういうことか実体験（ロールプレイ）で理解出来ました。
7	事前課題の段階である程度理解出来ていたから
8	ピアサポーターは、気持ちに寄り添って共感することは大切だけれど、共感しすぎると自分が辛くなるし、家には持ち帰らないというのを知り、これは普段の生活でも意識しないといけないことだと思いました。私はそれが苦手だったので、はっとさせられました。（事前課題の内容の中で）
9	まとめて慌てて見たため、理解が今一つのような気がする。
10	事前学習で動画やレポート提出していたので良かったと思います。

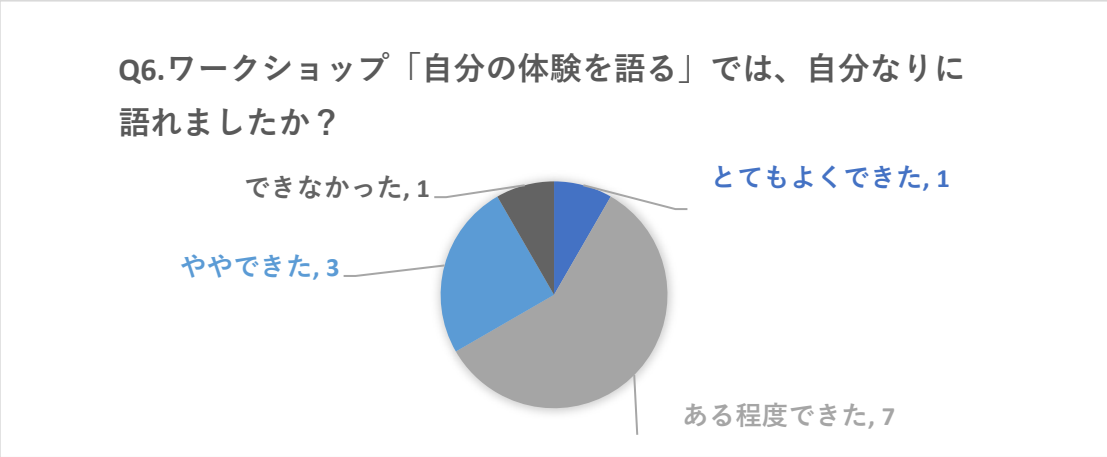
Q5.講義「相手を大切にすること、自分を大切にすること　バウンダリーについて」の内容は理解できましたか？



理由

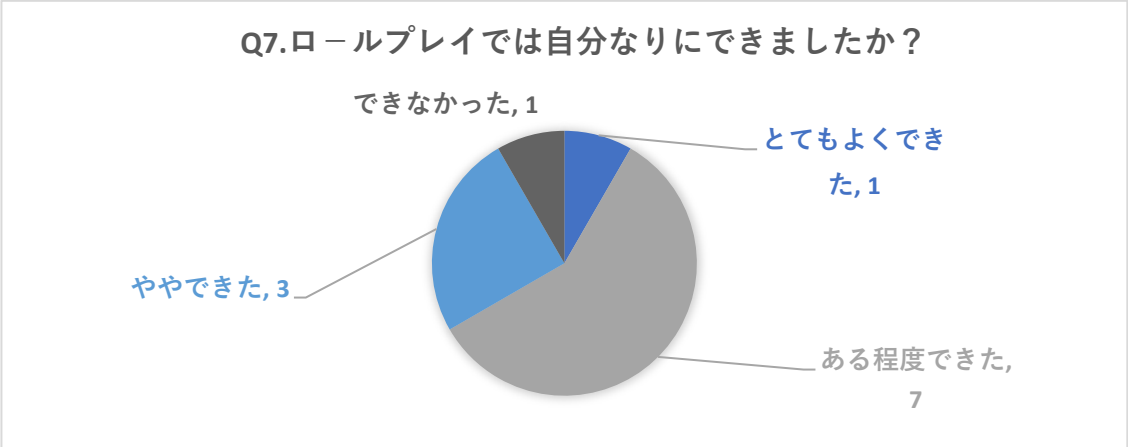
1	「自分を大切にできない人は、他人も大切にできない」のはもっともだと思いました。
2	講義に参加して「バウンダリー」という言葉を知りました。自分・相手を大切にすることはピアサポーターの基本ですね。
3	燃え尽き症候群防止のためにまず自分を大切に。自分と他人との境界線を明確。嫌なことは嫌と言えることが自分になること。自分を大切に自分にOK！痛感しました。
4	自分を大切にすることは相手を大切にすることになる
5	レジメ＋斎藤先生の説明がとても分かりやすく良かったです。
6	自分を大切に出来ないと何もかも上手くいかない様に感じる。相手を大切にするという事は自分も大事にする事だと改めて実感できた。
7	自分を大切に出来るか不安

8　日常や仕事などにおいても大事な事だから
9　講義の中で、生き方や人との関わり方も考えさせられました。自分を大切にしていないと相手のことは大切にできないなと思いました。
10　「個人的な思い込みに走らない」これにつきると思う。
11　まず自分自身を大切にしなければ相手のことまで理解できないと思うので、よく分かりました。



理由

1　時間が10分だと語れない。他の受講者の方でも、これから先のことも聴きたいというところで終了になりました。
2　まとまってなかった
3　みなさんのお話を聞けて良かったです。
4　時間内に話をまとめてお話するのはとても難しかったです。
5　短い時間ではございましたけれども自己開示することが出来ました。
6　辛い時期を思い出すことで泣いてしまったこと
7　あっという間の3分でした。もっともっと話したい。他の方のお話も聴きたいと思いました。
8　感情が先に出てしまい、決められた時間内で話をまとめる事がとても難しかったです。
9　話の途中で言葉が何度か詰まってしまったので、上手く話す事が出来なかった（泣きそうになりました。）
10　時間が短い
11　時間内で話す内容をまとめるのが難しかったから
12　時間配分が上手く行かなくて全く語れなかった。



理由

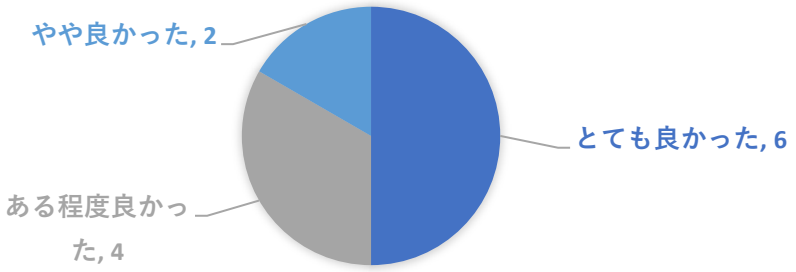
1	人物設定が難しかった
2	緊張しましたが、良い経験になりました。
3	ピアサポート役、利用者役、それぞれ難しい所があり勉強になりました。
4	ケース症例にのめり込みコントロール出来ない自分に気づかされた。
5	何が正解か分かりませんが懸命に話せたこと
6	ピアサポーター役がとても難しかったです。（返答につまる事があった）
7	相手に話す言葉、求めている事に答えられるかが気になってしまい。 全く対応できていなかった。
8	問題を解決したい気持ちが先走ってしまって、上手く聴くことが出来なかった。もっとゆっくり対応すれば良かったと感じた。
9	どういうふうに話をしたらいいかが難しかった
10	普段人の相談に乗る時と同じようにすることを心がけたから
11	相談者役、観察者役は上手く出来たと思う。ピアサポーター役は難しくて出来なかった。

Q8.ロールプレイでは自分なりにできましたか？

1	感情に寄り添うことの大変さを改めて感じました。
2	相手の感情に思いを寄せることの大切さ
3	とても勉強になりました。
4	とても難しかったですが、何回か回数をこなして、できるようになりたいです。
5	濃厚なロールプレイでしたが、場数を踏んで実践しているなぁと体感しました。ありがとうございました。
6	リズム感、声のトーンで安心感を与えることの大切さ
7	どの役もそれぞれ難しかったです。でも回数を重ねる事にみなさん素晴らしかったです。

8　何かを答えるのではなく、共感傾聴を大切に。というところから始めることの大切さを学びました。
9　患者自身が家族と相談者の状況は違いますが、「がん」で苦しんでいる人だという事を心にとめて、気持ちに寄り添いたいと思いました。
10　話をしたり、聴いたり、教えたり、勉強になりました。
11　利用者の立場になるのが難しかった
12　初対面の方の相談に応えるのは非常に難しい。自分の引き出しをどれだけ増やせるか、勉強が重要に感じる。

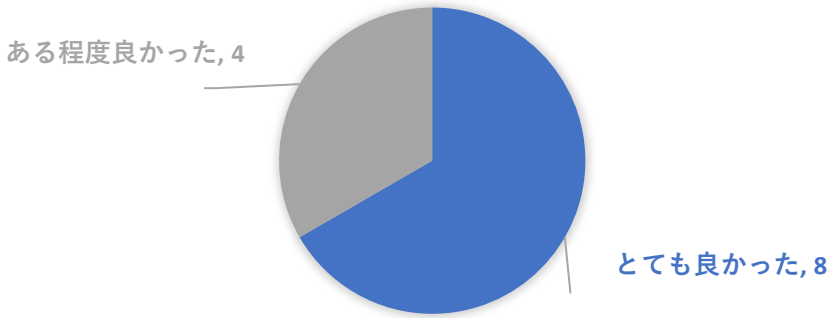
Q9.「がん対策について」の内容はいかがでしたか？



理由

1　法のことは難しい
2　もっと深く学びたいです。
3　行政や医療機関も頑張っているということ
4　法律のことはとても難しいけど、当事者の参加する場がたくさんできて良かったと思います。
5　沖縄でもがん対策が進んでいる事を知り希望が持てた。
6　国や県がどの様に動いているのか分かりやすく理解出来ました。
7　がん対策に関する法律や歴史的変遷を知ることができたから
8　分かりやすかった

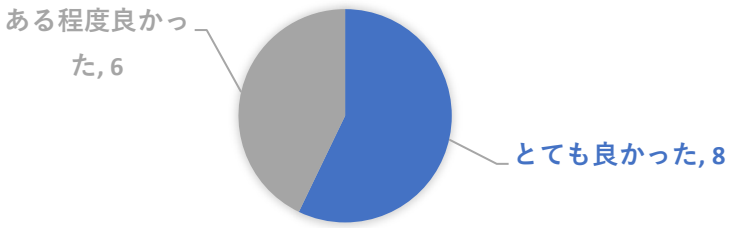
Q10.沖縄県のピア・サポート事業の内容はいかがでしたか？



理由

1	具体的で分かりやすかったです。
2	思ったより対策が出来ている
3	もっとたくさんの方に知って欲しいと思います。
4	ロールプレイで自分が相談役をし体験することでより必要性を感じた。
5	とても良かったです。少しずつ参加したいと感じた。
6	もう少し理解したい
7	ピアサポートを行っている関連病院を知ることができたから
8	仲間に迎えて頂き頑張ろうと思えた。

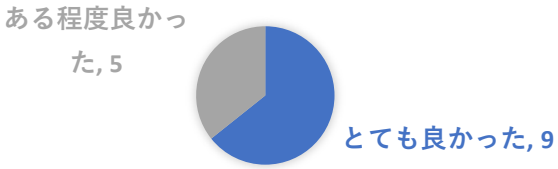
Q11.1日を通して、本講座の科目構成や日程（事前課題提出や時間帯）はいかがでしたか？



理由

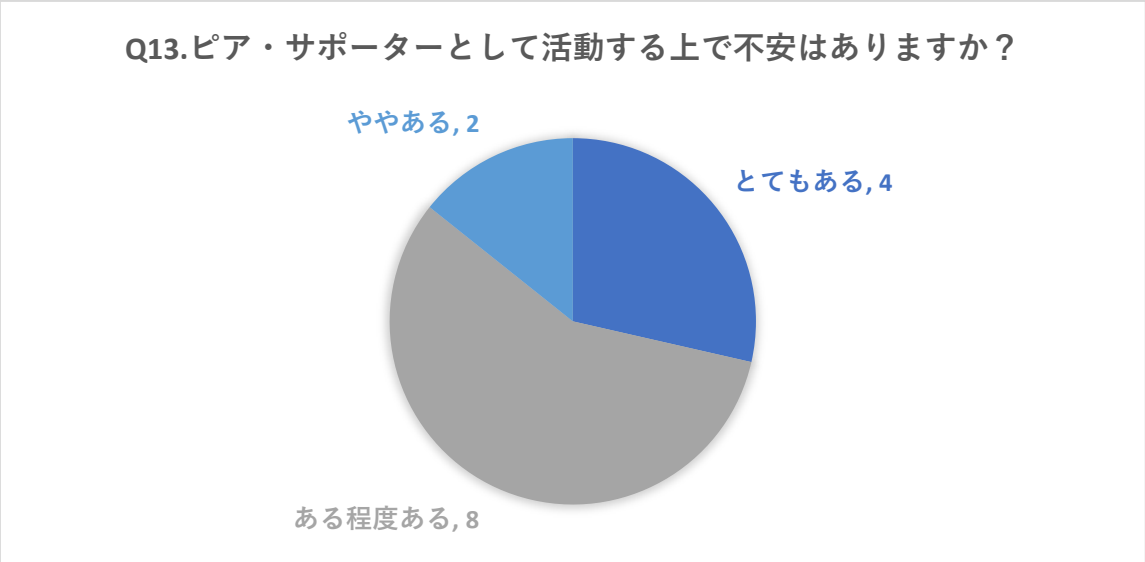
1	よいプログラムだと思いました。
2	ゆとりを持って参加することができた。
3	講義が理解しやすかった
4	受講前は長いかなと思いましたが、受けてみるとあっという間でした。
5	事前課題提出までに数日だったので少しあせりました。
6	事前課題が多くて当日への不安が多かったが、あっという間で楽しかったです。
7	必要な知識やスキルをぎゅっとまとめてもらえたから
8	一日では受け止めきれないほどの講座なので2日くらい欲しい。
9	事前課題提出でうまくメールが送れず少し慌ててしまってお手間をおかけしました。

Q12.1日を通して、ピア・サポート活動について理解できましたか？



理由

1	分かりやすかったです。
2	スライドを利用してから、レクチャーして頂き分かりやすかったです。ロールフ
3	少しずつ勉強していけたらと思います。
4	がんを経験したからこそ共感できる部分役に立てる事があると自信になった
5	一つ一つ細かく説明いただいたので良かった
6	様々なことを一日で学んだので、全て理解できたか分からないから
7	実技も含めてあり、よく理解出来た。
8	とてもきめ細やかな資料。そして何より実践がたくさんあって分かりやすかっ



理由

1	仕事とのバランス
2	自分の感情が表面に出てこないか・・・
3	不安はありますが、ピアの仲間や医療スタッフのみなさんに相談できると良い
4	プライバシーに踏み込んでいる
5	自己満足にならないようにしたい
6	仕事との調整が出来るよう頑張ります。
7	これからも学び、経験することでいつかはピアサポーターとして活動したいと思
8	自分にできるか不安はあります。
9	現場で活動する際に、患者さんを傷つけてしまわないかと思うから
10	すごくピアサポーター役が下手くそだったので、私に務まるか心配になりまし
11	離島在住なので、活動場所に不安がある
12	上手く出来るのだろうか？多少の不安はありますが、何度もやっていく内にク

Q14.ピア・サポーターとして活動する上で、どのようなフォローー体制があると安心ですか？

1	研修体制及び困った時にタイムリーに相談できる体制作り
2	教育体制について

3　フォロ－アップ研修会はいいですね。情報を更新できる場があるのはありがたいです。
4　ロールプレイ、スーパービジョン
5　サポーターと仲間を見つけていくこと
6　先輩方と少しずつ慣れていけたらと思います。
7　研修やフィードバック、事例相談会があると良いと思いました。
8　定期的な面談など
9　2回。3回とフォロ－アップをお願いします。
10　先輩サポーターさんからのフィードバックが欲しいです。

Q15.本講座へのご意見、ご感想をお書きください

1　ロールプレイの体験をあと1回くらいできると良いと思いました。振り返りで気づいたことを修正する体験が出来ればということです。
2　本日は大変勉強になりました。参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。
3　参加して良かったです。色々な方と知り合うことができて、今後の活動が楽しみです。
4　一日ありがとうございました。
5　今日は一日とても充実した日になりました。たくさんの学びをありがとうございました。またフォロ－アップ研修会も受けたいと思いました。
6　とても良かった。ありがとうございました。
7　大変勉強になりました。サロンに参加したい。
8　様々な経験をした方の話をきけてとても有意義な時間でした。
9　この度はありがとうございました。ピアサポートのお仕事はやっぱり心強いものだなと思いました。
10　とても素晴らしい講座でした。ありがとうございました。
11　今日一日ありがとうございました。とても良い学びとなりました。

令和6年度　沖縄県委託事業



あなたのがん体験を活かしませんか？

がんを経験したあなた・ご家族のあなただからこそ

がん患者やその家族に寄り添うことができます

がんピア・サポーターとは

がん患者さんやそのご家族・ご遺族の方の不安や心配ごとなどを仲間（ピア）として同じ立場で聴いたり、自身の体験をお話したりするがん経験者やそのご家族・ご遺族のことです。

令和6年度　がん　ピア・サポーター

養成講座

受講
無料

2025. 2.22 土

9:00-17:00
(8:30受付)

おきなわクリニカルシミュレーションセンター
(琉球大学医学部キャンパス内)

研修会の詳しい内容は裏面をご覧ください

受講対象

下記の1-5の全てに該当する方

1.がん患者さんおよびそのご家族、ご遺族
2.現在、病状が安定している方
3.事前学習プログラム（講義動画）を視聴できる方
4.講義ならびにロールプレイ（面談技法）に参加できる方
5.受講後は治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターのがんピア・サポーターとして登録し活動できる方

＊基本的に上記の1-5の全てに該当する方を対象としておりますが状況によっては受講対象とさせていただきます
お気軽にご相談ください

申込方法

左記QRコード、電話、
FAX、メール受付可

申込締切　2025.1.31 金

＊離島から受講される方は旅費の助成があります

沖縄本島内の移動は交通費等の助成はありません

詳細は事務局までお問い合わせください

●発熱（37.5℃以上）の症状のある方、風邪症状のある方はご遠慮ください。
●当日は、マスク着用でのご参加をお願いします。1日通しての研修会となるため、弁当持参をおすすめします。

[お問合せ]
琉球大学病院　がんセンター内　沖縄県地域統括相談支援センター　担当：喜瀬
TEL：(098)894-1506（直通）　FAX：(098)894-1510　MAIL：info@gansoudan-okinawa.jp

令和6年度 がん ピア・サポーター養成講座 2025.2.22（土）開催

講師紹介

●齋藤　円先生

市立ひらかた病院　精神科　主任部長

●野田　真由美さん

NPO法人　支えあう会「α」　副理事長

8：30開場/9：00開始/17：00終了　場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター

事前学習（動画視聴）

養成講座に先立って、基礎知識の習得のために、以下の6項目については動画視聴をお願いしています。

1．ピアサポートとは
2．ピアサポーターの役割と活動指針
3．相手を大切にすること、自分を大切にすること
4．より良いコミュニケーションのために
5．がん診断の基礎知識と情報提供の注意点
6．行政や医療機関が支援できること

＊動画の視聴や課題提出方法等については、お申し込み後にメールにてご案内します。

プログラム

8:30	受付	
9:00	開会のあいさつ・オリエンテーション	
9:20	ピアサポートについて	講義1　齋藤　円先生
9:50	事前学習の復習	講義2　野田　真由美さん
10:30	バウンダリーについて	講義3　齋藤　円先生
11:10	自分の体験を語る	ワークショップ1　野田　真由美さん　齋藤　円先生
12:10	お昼休憩	
13:00	ロールプレイオリエンテーション	野田　真由美さん
13:20	ロールプレイ1	ワークショップ2
14:00	ロールプレイ2	ワークショップ3
14:40	ロールプレイ3	ワークショップ4
15:30	全体振り返り	
16:05	がん対策について	講義4　がんセンター長　増田　昌人
16:15	沖縄県のピアサポート事業について	講義5　当センター　相談員
16:30	質疑応答・修了式	
17:00	閉会	

＊受講後に修了書をお渡しいたしますが、資格として認定されるものではありませんので、ご了承ください。

［場所 ］

おきなわクリニカルシミュレーションセンター
〒903-0215
沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
(琉球大学医学部キャンパス内)

［お問合せ］

沖縄県地域統括相談支援センター　担当：喜瀬
琉球大学病院　がんセンター内
TEL：(098) 894-1506（直通）
MAIL：info@gansoudan-okinawa.jp

沖縄タイムス「安心のお医者さん」特大枠（小4枠分）
12/16、23　1/13、20　掲載　計4回

2色



1色



2色

琉球新報「あなたの街のお医者さん」特大枠（小4枠分）
12/19、26　1/9、16、20、23、27、30　掲載　計8回



1色



令和６年度　沖縄県委託事業

がん　ピア・キャラバン

開催報告

実施日：令和７年１月 25 日（土）13：50～14：10

【名　称】

がん　ピア・キャラバン（相談会）～泣いていい場所、提供します～

離島やへき地を含む沖縄全域に出向き、がん患者支援を行うものである。主たる内要はがんピアサポーターによるがん相談とし、支援体制の普及啓発活動も同時に行う複合イベントである。

【目　的】

１．がん患者や家族の不安軽減
　当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。

２．がん ピア・サポートの周知
　当センターの普及活動とし、がん　ピア・サポート相談室の利用へつなげる。

３．がん　ピア・サポーターの活用
　当センター主催のがん ピア・サポーター養成講座修了生である登録ピア・サポーターの活動の場所として提供する。

【概　要】

１．日　時　　令和 7 年 1 月 25 日（土）13：50～16：10
　　開始時間 13：50、14：45、15：30
　　全 3 回
　　がんピア・サポーター　2 名
　　スタッフ（事務員 1 名）

２．場　所　　県立図書館　4 階　交流ルーム

３．対　象　　がん患者、そのご家族・ご遺族など

４．主　催　　沖縄県地域統括相談支援センター（令和 6 年度　沖縄県委託事業）

５．参加費　　参加・相談無料

７．予　約　　予約優先・当日受付

【イベント当日の流れ】

13:00～13:45　会場設営
13:45～13:50　打ち合わせ
13:50～16:10　受付・相談会
16:10～17:00　片付け・退館

【参加人数】　3 組

【振り返り】

前年度同様に会場を使用。準備はピアサポーターさんのご協力もあり時間通りに設置。事前に来られた参加者もおり 10 分早めに開始した。全体の参加者は計 3 組。2 人体制で相談に応じることで、柔軟にかつ幅広い内容で相談対応していただいた。1 組 30 分とはいかず終了時間を 10 分程延長した。参加者には、初めての参加の方もおりこのような相談会の場でお話ができ安堵された様子。がん関係の本など県立図書館担当おすすめとして紹介。相談ブースでは、パーテーションを使用しプライバシーに配慮した。ピア・サポーターの協力もあり準備から片付けまでスムーズに行え、無事終了できた。今回同様に前もって周知していきたい。次回は何か催し物も併せての開催を検討が必要。時間までの待機場所やピアサポーターの休憩の流れなどしっかりと打合せが必要と感じた。県立図書館担当者も協力的で、次年度からも毎年 1 月～2 月にかけてのピア・サポート展と併せて相談会を行うこととなっている。

【当日の様子】





令和 6 年度 1 月～3 月
沖縄県地域統括相談支援センター　院内患者サロン参加報告

1. 各拠点病院内　患者サロン

(1)　琉大ゆんたく会

日　時　①令和 7 年 2 月 4 日（火）14：00～15：30
②令和 7 年 3 月 4 日（火）14：00～15：30

場　所　琉球大学病院　7 階病棟　会議室

派遣者　①ピア・サポーター　2 名
②ピア・サポーター　2 名

(2)　中部ゆんたく会

日　時　①令和 7 年 2 月 27 日（木）16：00～17：00
②令和 7 年 3 月 28 日（木）16：00～17：00

場　所　中部病院　講堂

派遣者　①ピア・サポーター　1 名
②ピア・サポーター　1 名

(3)　那覇がん患者ゆんたく会

日　時　①令和 7 年 1 月 16 日（木）14：00～15：00
②令和 7 年 3 月 13 日（木）14：00～15：15

場　所　那覇市立病院　6 階会議室

(4)　オンラインゆんたく会

日　時　①令和 7 年 1 月 21 日（火）14：30～15：30
②令和 7 年 2 月 18 日（火）14：30～15：30
③令和 7 年 3 月 18 日（火）14：30～15：30

場　所　オンライン（Zoom）

派遣者　①ピア・サポーター　1 名
②ピア・サポーター　1 名
③ピア・サポーター　1 名

令和６年度　沖縄県委託事業

沖縄県地域統括相談支援センター会議
開催報告

実施日：令和７年１月 10 日（金）

令和6年度　沖縄県地域統括相談支援センター会議

日　時　　令和 7 年 1 月 10 日（金）　15：30～16：30
場　所　　がん相談支援センター
出席者　　仲田　ひろ子（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　上地　久美子（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　増田　昌人（琉球大学病院がんセンター　センター長）
　　喜瀬　杏妃（沖縄県地域統括相談支援センター　事務補佐員）

【議 題】
1. 令和 6 年度 年間事業計画について　（資料 1）
2. 新病院移転後の活動について　（資料 2）
3. その他

【議題】
1. 令和6年度　年間事業計画について
今年度の残りのイベント・日程確認。今年度の振り返りを行った。毎月イベント及び研修会等を開催できたことは良かった。チラシの新規作成に向けて皆さんより意見をいただく。患者さんやそのご家族・ご遺族が手にとって相談してみようと思うようなチラシを作成することで進めることになる。

2. 新病院移転後の活動について
新病院へ移転し、相談室の使用の仕方や、今後のピアサポート活動の動きを確認。外来や化学療法室を訪問することを中心に、がん情報閲覧コーナーにも立ち寄り声掛けをすることとなる。病棟については、看護部長と面談後、緩和ケアチームと連携をとり各病棟を回ることにまとまった。

3. その他
新病院のホームページに載せていただくために写真撮影を行った。

がんについての不安や悩みはありませんか？

がんピア・サポート相談室

がん ピア・サポーター（がん経験者）が、
経験したからこそ分かち合える仲間（ピア）として
あなたに寄り添い、同じ立場でお話をお伺いします。

TEL:098-894-1506（直通）

がん ピア・サポーター養成研修を修了したがん経験者、その家族・遺族が個別でがん相談に対応します！

ステージ４の診断を受け、抗がん剤治療を経験しました。一人じゃないです。色々なお話をしながら、寄り添い、サポートします。

肺がん 経験者（50代女性）



不安な気持ちや心配事はありませんか。私もそうでした。私たちとお話をしませんか。お待ちしています。

腎がん 経験者（50代男性）



小児がんの娘と闘病生活を共にしました。私の経験が皆さんのお役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

小児がん 家族（50代女性）



まずはお気軽にご連絡ください

- 予約優先・当日受付可
- 何回でも相談無料
- 全がん種に対応

※秘密は厳守いたします

30代で子育てをしながらがん治療を経験しました。身近な人には話しにくいことも同じがん体験者になら話せること、そして通じることもきっとあるはず…ご相談お待ちしています。

肉腫 経験者（50代女性）



乳がんの治療で、抗がん剤や手術などを経験しました。不安な気持ちなど、いろいろお話できたらと思っています。

乳がん 経験者（50代女性）



40歳に乳がんを発症し、仕事を続けながら治療をしました。がんと向き合う時間が少しでも軽くなるようにお手伝いできたらと思います。

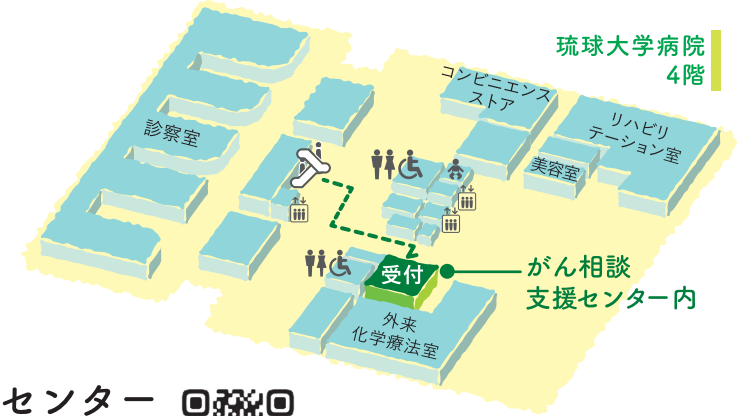
乳がん 経験者（50代女性）



対象者	がん患者、その家族・遺族
相談できる内容	がんについての不安や悩み
相談形式	対面・電話・オンライン　がん個別相談
受付時間	平日/9:00～17:00（休日・祝日は除く）

ピア・サポーターの在室時間は曜日によって異なります。詳細はお問い合わせください。

FAX:098-894-1510　MAIL:info@gansoudan-okinawa.jp



沖縄県委託事業 沖縄県地域統括相談支援センター
〒901-2725 沖縄県宜野湾市字喜友名1076番地　琉球大学病院 がんセンター内
https://www.gansoudan-okinawa.jp